

事務事業名		へい獣埋却場運営管理事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業		
政策体系	政策名	02 自然豊かな環境の保全と創造			事業期間		予算科目		
	施策名	06 廃棄物の排出抑制と適正処理							
	基本事業名	02 ごみの適正処理の推進			☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 - 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度  全体計画欄の総投入量を記入		会計 01 款 04 項 01 目 03 事業 13		
根拠法令	化製場等に関する法律								
所属	部課名	生活福祉部 市民生活環境課			総投入量 (千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計 (A) 0 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B) 0 トータルコスト(A) + (B) 0				
	係名	環境衛生係	電話	27 - 3111					
			内線	125					
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 死亡獣畜の埋却処理を適正に行うために設置。 現在、死亡獣畜の処理は主に市外の施設で行われているため、災害などにより死亡獣畜が大量に発生する場合に備え、施設の維持・管理を行っている。 主な業務内容は、へい獣埋却処分場敷地内の草刈り業務 (委託) 処分場用地の借り上げ料の支払い事務。 事業費は、草刈り業務の委託料、処分場用地の借上げ料に支出される。									

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
手段 (主な活動)		名称 単位	
前年度実績 (前年度に行った主な活動)		ア 施設の点検回数 回	
市で設置しているへい獣埋却場の施設管理を行った。		イ 草刈り回数 回	
今年度計画 (今年度に計画している主な活動)		ウ	
前年度同様に施設管理を行う。			
対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
へい獣埋却施設利用者		名称 単位	
		カ へい獣埋却施設数 施設	
		キ 施設利用件数 件	
意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)		ク	
施設に不具合発生が発生しない。 利用者が、いつでも利用できる。		成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称 単位	
結果 (基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)		サ 不具合等発生件数 件	
発生したごみ (死亡獣畜) を適正に処理する		シ	
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (目標)
投入量	事業費	単位						
		千円						
事業費	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円	8	8	8	8	8	8
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	82	82	82	82	82	83
	事業費計 (A)	千円	90	90	90	90	90	91
	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間	10	10	10	10	10	10
人件費	人件費計 (B)	千円	40	40	40	40	40	40
	トータルコスト(A) + (B)	千円	130	130	130	130	130	131
活動指標	ア	回	0	1	1	1	1	1
	イ	回	1	1	1	1	1	1
	ウ							
対象指標	カ	施設	1	1	1	1	1	1
	キ	件	0	0	0	0	0	0
	ク							
成果指標	サ	件	0	0	0	0	0	0
	シ							
	ス							

事務事業ID	0077	事務事業名	へい獣埋却場運営管理事業
--------	------	-------	--------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

昭和43年、大船渡市内の死亡獣畜を適正に処理するため、大船渡市へい獣埋却場設置管理に関する条例に基づき設置された。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

死亡獣畜の処理を適正に行うために施設を設置し、死亡獣畜の受け入れを行っていたが、現在は、市外の施設で処理されるようになったため利用されておらず、施設の維持管理のみを行っている現状である。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

特に寄せられていない。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 死亡獣畜(廃棄物)を適正に処理することは、自然豊かな環境を保全するために必要不可欠である。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 死亡獣畜は主に市外の施設で処理されているため、市の埋却処分場は利用されていない状況であるが、災害などにより大量に死亡獣畜が発生した場合、当市において本施設以外に処理する施設が無い場合、死亡獣畜の処理可能な本施設の維持は必要である。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ ここ数年、この施設の利用はほとんど無い状況であるが、災害などにより死亡獣畜が大量に発生することも考えられるので、当該施設を適切に維持管理し、いつでも使える状態にしておくことが必要である。 利用者は死亡獣畜の飼養者等全般であり適切である。
有効性 評価	成果の向上余地	☐ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない [理由] 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 適切な維持管理により不具合は発生しておらず、成果の向上余地はない。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 死亡獣畜は主に市外の施設で処理されているため、市の埋却処分場は利用されていない状況であるが、近い将来必ず発生するといわれている宮城県沖地震等の自然災害などにより大量に死亡獣畜が発生した場合、市内において死亡獣畜処理の可能な施設が必要である。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] 市内において、死亡獣畜の処理可能な施設が無い場合。 ☒ 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 現在の事業費は、施設を最低限管理するための費用であり、削減された場合、施設内の草刈り等の維持管理を直接職員が行わなければならないとなり、他の事務事業への影響が懸念される。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) この業務に係る所要時間はほとんど無いため、削減の余地がない
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 事業の内容が一部の受益者に偏っていない不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 現在は休止状態であるが、利用する場合には、利用者から使用料を徴する。また、死亡獣畜が適正に処理されることにより、市内全域の公衆衛生が保持されるため、市民に対して公平である。

事務事業ID	0077	事務事業名	へい獣埋却場運営管理事業
--------	------	-------	--------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 死亡獣畜の処理については市外の施設で可能であることから、今年度で使用された実績は無いが、災害時等に備えた維持管理を行った。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 今後も、地震や津波等の災害の発生等、緊急時の対応に備えた適切な維持管理を行い、いつでも使える状態を保持していく。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 災害時に対応できるような施設管理。																							

(職 名) 原則として施策の主管課長 (氏 名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	市民生活環境課長	
-------	----------	--

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☒ 一部記述不足のところがある ☐ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☒ 一部に客観性を欠いたところがある ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 死亡した獣畜があったのか不明であるため、関係課等からの聞き取りにより、確認するなど全体的な総括が必要である。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 市内には、災害発生時等における獣畜処理施設が存在しないため、緊急時の対応に備えた施設として、適切な維持管理を行っていく。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
